

平成29年度 事業計画書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

本年度は、前年度に引き続き定款第5条に定める事業の充実を図り、公益財団法人としての管理運営を遺漏なく行い、当財団に対する関係各層のいっそうの理解を深めるため次のとおり各事業を推進します。

1. 助 成 事 業 【 予算 34,158 千円 】

(1) 研究助成金の交付

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスの分野において、研究活動を行う研究者または研究機関に対して助成を行います。

本年度は一般研究および中長期的視点に立った研究として特別研究に総額32,000千円の研究助成を行います。

[予算 32,000 千円]

(2) 国際交流助成金の交付

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスの分野において、海外で開催される学会等で、自己の研究成果を発表する国内在住の研究者の参加費用（旅費・滞在費・参加費）または国内で開催する学会・シンポジウム等に海外研究者を招聘する費用（旅費・滞在費）に対して、地域に応じて1件35万円以内、総額1,000千円の助成を行います（資料⑦）。

[予算 1,000 千円]

(3) 選考委員会について

本事業に関する研究助成・国際交流助成の選考審査については選考委員会が理事長の諮問に応じて行います。来期（平成30年6月28日まで）の選考委員を資料⑧に掲げる委員に委嘱します。

[予算 1,158 千円]

2. 普 及 啓 発 事 業 【 予算 11,219 千円 】

(1) 腸内フローラシンポジウム

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスに関する普及啓発を目的として、「第26回腸内フローラシンポジウム」を次のように開催し、腸内フローラの意義について一層の解明と最先端の研究成果を広く国内外の研究者等に紹介します。（資料⑨）

「第26回腸内フローラシンポジウム」の概要（予定）

- ・ テーマ：「腸内フローラの形成と疾患
～食・栄養・くすりがどのように関わるのか？～」
- ・ 開催日：平成29年10月27日（金）
- ・ 場所：ヤクルトホール
- ・ 講演者：海外講師3名、国内講師4名

[予算 9,600 千円]

(2) シンポジウム運営委員会、記録集の作成他

シンポジウム運営委員会が、理事長の諮問に応じて、「腸内フローラシンポジウム」の「テーマの選定」、「講演講師の選定」および「開催・運営・記録に関わる指導業務」等を行います。今期のシンポジウム運営委員を資料⑩に掲げる委員に委嘱します。

[予算 1,619 千円]

3. 調査研究事業

【 予算 1,000 千円 】

腸内フローラを主体としたバイオサイエンスに関する基礎技術の進歩や生体と意義究明に関して専門研究者・学識経験者を通じて文献・学会等の情報調査を行います。

4. 事業推進

【 予算 4,200 千円 】

前記1. および2. の事業を、適切に運営するため事業推進費を設け推進します。昨年引き続きインターネットを中心に当財団の事業紹介を積極的に行い、一層の情報提供、情報開示に努めます。

5. 管理業務

【 予算 4,934 千円 】

本年も、財団運営に係わる管理業務については、理事会、監事監査、評議員会を開催・運営するとともに、その他諸業務も適切に行います。

公益財団法人としての主務官庁への届出等対応業務を適切に行います。

以上